

2010年1月28日

「FUKU-FUKUプロジェクト」に 丸井グループが参画します！

丸井グループは、経済産業省および独立行政法人中小企業基盤整備機構が支援する「繊維製品リサイクル・モデル事業」に参画することとなりました。昨年8月に実施された株式会社良品計画と株式会社ワールドに続いての参画となります。

この事業は、日本環境設計株式会社が事務局となり、同社が所有する綿素材のケミカルリサイクル技術(特許出願済)を中心として一般衣料の100%リサイクルを目指すもので、遅れていた一般衣料リサイクルを推進させる大変意義のある実験です。

この事業の本格的な実現のためにおこなう回収実験は、「FUKU-FUKUプロジェクト」と名付けられ、丸井では1月30日(土)から2月14日(日)までの16日間、お客さまのご不要となった衣料品の回収を丸井全店(22店舗)で行います(一部対象外店舗あり)。

自社ブランドやメーカー、特定のアイテムなど限定せず、一人でも多くのお客さまから回収できるよう、婦人衣料全般を対象として、幅広く回収いたします。

今後もファッションを中心に小売事業をおこなっている企業の社会的責任のひとつとして、環境保全活動や社会貢献活動など、できることから一つずつ着実に取り組んでまいります。



FUKU-FUKUプロジェクト実施概要

1. 期間 ・ 1月30日(土)～2月14日(日) 16日間
2. 回収対象店舗 ・ 丸井全店 22店舗
(東京10店、神奈川4店、埼玉3店、千葉1店、茨城1店、静岡1店、大阪1店、神戸1店)
インザルーム新宿本店、新宿マルイ メンは除く
3. 回収場所 ・ 丸井各店のスタジオゼロワンまたはインフォメーションカウンター
4. 回収対象品 ・ 婦人衣料全般(靴、鞆、紳士服は対象外) 回収点数制限なし
5. 実施内容 ・ ご不要になった「婦人衣料品」を上記ショップにて販売員が回収します
・ ご協力いただいたお客さまにノベルティ(コースター)をプレゼントいたします
・ 回収した衣料品はリサイクル工場に運搬され、バイオエタノールやその他工業用原料として生まれ変わります。



繊維リサイクルの現状

1. 一般衣料品等の繊維製品のリサイクルについては、特に、素材の複合度の高さや製品の多様性、進まない再生用との拡大が大きな壁となり、その取り組みが自治体による行政回収など、一部に限定されています。
 2. 我が国においては、年間210万トン強(1)にのぼる繊維廃棄物が、そのまま焼却または埋立処分がされており、特に、一般衣料品等のリサイクルがすすんでいないこともあり、早急に何らかの対策を講じることが求められています。
- 1…2004年に国内で繊維製品の製造に使用された繊維原料は114万トンで、うち15万トンが産業廃棄物として廃棄されている。一方、同年度の繊維製品の排出量は230万トンであるが、その内ウエスや反毛として再生利用されているのは10万トン、友人への譲渡やリサイクルショップ、中古衣料としての海外輸出等として処理されている。

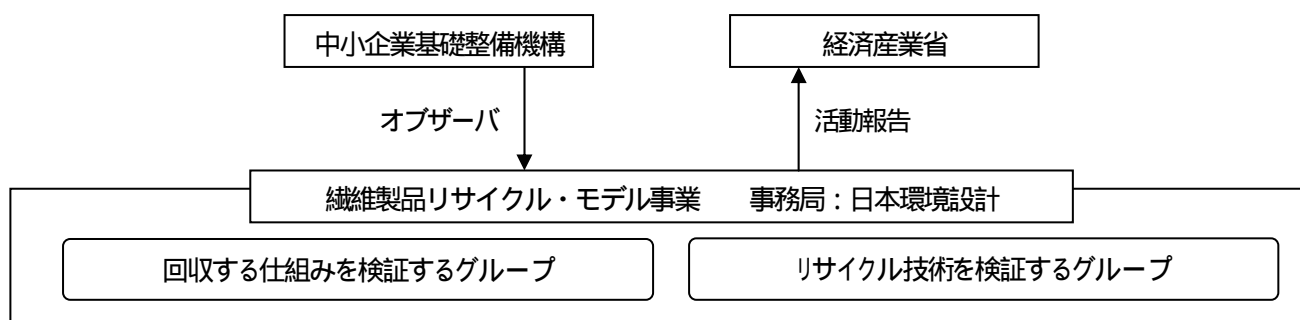
[出典] (独)中小企業基盤整備機構が実施した平成18年度の繊維製品リサイクルの現状調査

ケミカルリサイクル技術

日本環境設計株式会社が所有する「酵素バイオエタノール製造技術」は、不要となった服から綿繊維部分を分解し発酵させ、バイオエタノールを得る技術であり、綿繊維のケミカルリサイクルを可能にする新技術です。日本環境設計株式会社は、現在この技術の商用化にむけて実証実験をし、さらなる技術開発を推進しています。この技術により製造したバイオエタノールは、工業用エタノールや、石油に代わる燃料として使用されます。本事業では、複合繊維からなる一般衣料のケミカルリサイクルについても検討課題とし、将来的には不要となった服の100%リサイクル化を目指します。

現在、日本国内で廃棄されている綿約120万トンから生産可能なバイオエタノールは約85万キロリットル、削減できるCO₂は年間約130万トン(CO₂)に及びます。

繊維製品リサイクル・モデル事業



本事業では日本環境設計株式会社が事務局となり、一般衣料品等の繊維製品に係るリサイクル技術の確立及び効率的な回収方法の検証を行うべくモデル事業を実施することで課題等を抽出・整理し、その結果を踏まえ、「回収」「再生」「再生製品の使用/販売」を含めた一貫した効率的な繊維製品リサイクルシステムの構築について提案します。株式会社丸井グループは、本回収実験より回収する仕組みを構築するグループとして、消費者への普及啓発と以下の課題の整理を行います。

1. 消費者の繊維リサイクルに対する意識と行動の把握
2. 消費者への普及啓発(プロモーション)
3. 繊維リサイクルへの課題整理
 - ・小売店にとってのメリット、デメリットの確認
 - ・繊維リサイクルにかかるコストの算出と今後の事業性評価

丸井グループの環境保全活動について



企業活動と地球環境との調和をはかるため、省エネルギー、省資源など環境の保全に配慮した取組みをすすめています。環境対策としての設備の導入だけでなく、店舗を展開する企業の特徴を活かして、さまざまなイベントを開催。京都議定書により日本が世界に約束した温室効果ガス排出量6%の削減に向けて発足した「チーム・マイナス6%」に賛同し、「クール(ウォーム)ビズ」「ライトダウンキャンペーン」などのキャンペーンにも積極的に参加しています。

また、ファッションを通じて世の中のお役に立つために、お客さまと共に少しずつアクションを起こしていくプロジェクト「Earth Smile Project @ marui」を継続しておこなってまいります。

丸井グループの概要

商 号 : 株式会社 丸井グループ
 本 社 所 在 地 : 〒164-8701 東京都中野区中野4 - 3 - 2
 代 表 電 話 : 03(3384)0101 FAX 03(5343)6615
 U R L : <http://www.0101maruigroup.co.jp>
 社 長 : 青井 浩
 店 舗 数 : 22店舗
 主 な 関 連 会 社 : (株)丸井
 (株)エポスカード、(株)エムアールアイ債権回収、(株)ゼロファースト
 (株)エイムクリエイツ、(株)エムアンドシーシステム、
 (株)シーエスシー、(株)ムービング